

教育委員コラム

教育委員リレーコラム 《キャリア教育》

教育委員長職務代理 藤原 将男

近年「キャリア教育」というキーワードが新聞等で取り上げられる機会が多くなっています。社会構造が変化し、しっかりとした職業観を早いうちから醸成する事が必要となってきたからです。文部科学省のHPを見ると、キャリア教育が求められる背景として、



○少子高齢社会の到来、産業・経済の構造的変化や雇用の多様化・流動化

○就職・就業をめぐる環境の変化

○若者の勤労観、職業観や社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質をめぐる課題

○精神的・社会的自立が遅れ、人間関係をうまく築くことができない、自分で意思決定ができない、自己肯定感を持ってない、将来に希望を持つことができない、進路を選ぼうとしないなど、子どもたちの生活・意識の変容

○高学歴社会におけるモラトリアム傾向が強くなり、進学も就職もしなかったり、進路意識や目的意識が希薄なまま「とりあえず」進学したりする若者の増加

が挙げられており、キャリア教育とは『「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」ととらえ、端的には、「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」とする。』と定義されている。

そのためにも、『学校の教育活動全体を通じて、児童生徒の発達段階に応じた小学校段階からの組織的・系統的なキャリア教育の推進が必要』と書かれています。



町内の学校でも、小学校から仕事について調べることや、中学校・高校では「職業体験」などを通じて実際の仕事に触れることで、働くことの意義や仕事の内容を知り、将来の職業選択にも役立つ機会となっています。

特に、弟子屈高校では弟子屈町商工会・北海道中小企業家同友会摩周地区会の協力を得て、面接指導や実際に働いている方々の講話を聞く機会を設けるとともに、今年の2月には他業種の方を招いて生徒がグループ毎に分かれそれぞれの仕事の内容や必要な資格、遣り甲斐、心構えなどを教えて

いただただけでなく、生徒からも質問するなど、地域と連携しながらキャリア教育の充実を図っています。

このような取り組みに我が町の各企業・団体の方々が惜しみなくご協力いただけることに感謝申し上げますとともに、今後とも更なるご支援をいただきますよう、教育委員会からもお願い申し上げます。

(次回のリレーコラムは榎本委員です)

弟子屈町教育委員会



〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話：015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>





教育あっちこっち情報



都会の子育てを垣間見ました

娘家族が千葉県に住むことになり、引越しの手伝いがてから私も2週間余り行ってきました。そこは若い世代が多い町で、一歩外に出るとベビーカーや、前後に子供を乗せた自転車が往来しています。TV で見たことのあるこの自転車は本体も子供座席も頑丈で、6万円位もするものでした。周辺には公園以外遊べるような場所は無く、学童保育が高架橋の下で行われているのには驚きました。

孫が入った幼稚園は園児が300人もいるので、迎えに行くのはネームプレートを付けた者が原則で、園児は3人ずつ出て来て親に渡されます。

子供達は園の遊具で遊びたがるのですが、数に限りがあるので自由に遊べません。

住宅街にあるので、特別な場合以外車でのお迎えはできず、自転車も制限があり、お母さん達の道路でのおしゃべりにも苦情がくるということ。都会での子育ては大変なものです。

失って初めて有難みが分かるもので、伸び伸びと、かつ細やかだった摩周丘幼稚園に今更ながら感謝する日々です。

教育委員 榎本悦子



18名の先生が本町に赴任

4月1日、本町に赴任された町内小中学校の先生の辞令交付式が公民館講堂で行われました。赴任された方々は校長3名、教頭5名、一般教員10名、総勢18名です。この式には来賓として各教育委員や校長等が出席され、徳永町長も大変多忙の中ご出席頂き、歓迎のご挨拶を頂きました。今回赴任された一般教員の内、有賀優子教諭(弟子屈小学校)と田嶋麻美教諭(弟子屈中学校)の二人は、難関と言われる教員採用試験を見事突破され、晴れて教員として正式採用となり、この弟子屈町の地から教員生活をスタートすることとなりました。

赴任された先生方には早く本町に慣れ親しんで頂き、次代を担う子ども達のためにご奮闘されることを心から期待しております。

教育長 小林 俊夫



卒業式でのサプライズ

今年も卒業式・入学式のシーズンも無事終わり、様々な別れと出会いの場面に立ち会わせて頂いた。

そんな卒業式での1コマ・・・その日は美留和小学校の卒業式に出席させて頂いた時の事。

2名の卒業生が入場し厳肅な中、式は進んで行った。在校生、両親や地域の方々に見守られながら校長先生から卒業証書を授与された後、2名とも壇上で今までの感謝の気持ちやこれからの抱負を堂々と述べていた。その後壇上から降り自席へ戻る途中、先生が2輪の花束を持ちそっと卒業生に手渡した。その花束は先生からのプレゼント? と思い、行く先を見ていると後方の両親のもとに歩を進めた卒業生は、その花束を1輪ずつお父さんとお母さんに恥ずかしそうに手渡したのだ。思わぬサプライズに両親とも目頭が熱くなった様子。同年の子を持つ親として私も思わず感無量の瞬間であった。こんな思考を凝らしたサプライズも小規模校ならではの事であると実感した日となった。

教育委員 菅原誓之



昭栄小学校の卒業式に参列して

平成二十五年三月二十二日に、弟子屈町内各小学校で一斉に卒業式が挙行され、私は昭栄小学校に参列致しました。校長先生を始め、担任の先生・在校生・職員の方々・そして地域の皆様に祝福されて、一人の生徒が、校長先生より卒業証書を授与されました。式の中で彼がお礼を述べる姿は、とてもさわやかで、立派でした。

私は偶然にも、彼が新入生の平成十九年四月五日に、同校の入学式に参列したのです。それから六年間の年月を経て、遅く大きく成長し、歴史と伝統のある昭栄小学校を巣立って行く晴れ姿に感動を貰いました。式場内は、彼の門出を祝福する皆さんの優しさでいっぱい包まれていました。

四月からの彼の新しい中学校生活に、心よりエールを送ります。

委員長 小澤 重



奥春別小学校卒業式の演出

今年の奥春別小学校の卒業式では、卒業生が卒業証書を受領するため壇上に上がるまでの間に、在校生が卒業生の思い出をメッセージで語る場面があり、非常に感動を覚える演出でした。感謝の想いが十分伝わるとともに、在校生の立派な態度に敬服するばかりでした。

職務代理 藤原 将男



*** 編集後記 ***

遅れていた桜も一気に満開となりましたね。これから日々暖かくなるのではと期待しているところです。

今月から各学校で順次運動会がスタートしますが、全ての学校が天候に恵まれることを祈るばかりです。

さて、次回の教育委員コラムの発行は8月を予定しております。お楽しみに…。

弟子屈町教育委員会
委員長 小澤 重
職務代理 藤原 将男
委員 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
教育長 小林 俊夫

